



横越中学校野球部も参加・熱戦 磐越道沿線の中学生が野球を通して交流

7月29・30日、新潟市の新潟県スポーツ公園（ビッグスワン隣）で磐越自動車道沿線都市交流会議主催による少年野球大会が、新潟県、福島県の中学校23校の参加で行われました。この大会は、磐越自動車道沿線都市の中学生の野球をとおした交流が目的で、今年で7回目。毎年新潟県、福島県の交互で開催されています。

横越町からは横越中学校野球部が参加し、2回戦で会津若松市立第三中学校と対戦。家族などの応援を受け好ゲームが続き、1対1のまま試合終了となり、抽選の結果、翌日の準々決勝に進みました。翌日はあいにくの雨模様となりましたが、いわき市立内郷第一中学校と対戦し、0対7で破れたものの、参加した3年生は、中学生最後の試合を楽しみました。

なお、大会は、内郷第一中学校が優勝しました。



↑のぎくの家の通所者による歌の披露

賑わった出店→



恒例の「のぎくの家夏まつり」開催 障害者と地域の人たちが一緒に楽しむ

7月26日、上町の視覚重複障害者施設「のぎくの家」で、恒例の夏まつりが開催されました。

のぎくの家は、障害を持つ人たちが資源回収などの活動を通して、社会参加・自立を目指す通所施設です。このまつりは、通所者と地域の人たちとの相互理解を深めようと毎年開催されており、今年で14回目となりました。

中学生による太鼓を皮切りに、のぎくの家の通所者によって今年6月のコンサートで歌った曲、合唱団による歌、伝統の神楽舞、中国の楽器の二胡演奏、インド舞踊などが披露されました。また、会場周辺では、通所者がふだんの作業で作った手すきハガキや廃油せっけん、アクリルたわしが販売されたほか、生活雑貨、旬の野菜、焼きそばなどの販売コーナーも並び、子どもたちや地域の方々、ボランティア団体など多くの人たちが参加・協力して、楽しいまつりとなりました。

地域のふれあいの場 東町会館 神楽舞で新しい会館の完成を祝う

8月3日、新しい東町会館の竣工式が行われ、自治会役員、地元住民など関係者約80名が出席しました。

昭和28年頃に建てられた旧会館は老朽化し、地元住民から建設の要望が長年寄せられ、旧会館から100mほど離れた1,000㎡の土地に今年5月着工、このたび完成しました。新しい会館は195㎡（約59坪）、和室など3部屋の平屋建となっています。

はじめに会館前で、横越東町芸能保存会の神楽舞による厄払い。続いて、東町の高橋区長から「建設に当たり、住民の方々から委員を立ててもらって計画を進めてきました。十数年来の願いが叶い、立派な会館ができました」と、建設の経緯と感謝を述べ、浅見町長から「皆さんの熱意によって完成しました。子どもからお年寄りまでが集まって、地域の発展を考える場、コミュニティの場となることを期待します」とあいさつがあり、完成を祝いました。



火床を素足で渡りながら祈願 木津薬師で恒例の火祭り

7月28日、木津の真言宗光明院で、恒例の火祭りが行われました。

暗くなり始めた午後7時過ぎ、山伏姿の修行僧たちがほら貝を吹きながら境内に入場。町内外から訪れた多くの人たちが見守る中、弓や剣、斧などを使って儀式を行いました。その後、読経の声とほら貝の音が響きわたる幻想的な雰囲気の中、山積みされたまきに火が入ると、白い煙が天高くのぼり、やがて数メートルの高さにもなった大きな炎が、パチパチと音をたてながら激しく燃え上がりました。

やがて火の勢いが衰えたところで、いよいよ火渡りの開始。はじめに素足になった修行僧が、気合を込め歩き渡った後、子どもからお年寄りまで、一般の人たちが胸の前に手を合わせてそれぞれの願いを込めながら、次々と火床を素足で渡りました。



夏の交通事故防止運動 街頭指導で交通安全・無事故を呼びかける

激しい暑さによる寝不足や疲労などから、運転に対する注意力が散漫になりがちな季節を迎え、ドライバーに注意を呼びかけようと、8月1日から10日まで、夏の交通事故防止運動が県下一斉に行われ、その一環として8月4日、街頭指導所が川根町の国道で開設されました。

今回の運動の重点は、「飲酒・居眠り暴走運転の追放」「シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底」。

指導所には、浅見町長をはじめ、新潟南警察署、交通安全協会、交通安全母の会、ライオンズクラブ、交通安全指導員あわせて約50名が参加。通行する車に止まってもらい、「交通事故に気をつけて下さい」と注意を促しながら、ドライバーに事故防止のチラシなどを配付しました。

また、運動期間中は、指導車を巡回したり、のぼり旗を立てたりして、交通ルールの遵守・安全運転を広く呼びかけました。



近隣市町村も新潟まつりに多数参加 町の郷土芸能「横越小唄」を披露

8月8日・9日、新潟市古町のアーケードで行われた新潟まつりの「まつり行列」に、新潟地域合併問題協議会で市町村合併の協議を進めている関係市町村の郷土芸能が披露されました。

8月8日、町内の民謡クラブの有志で構成された横越町の参加者21名も、白と紺色のおそろいの浴衣姿で参加。メンバーは会場で出番を待っている間、亀田町の民謡クラブの人たちと楽しく話をしたり、次から次へと登場する万代太鼓や住吉行列などを見学して、まつりの雰囲気を楽しみました。

いよいよ公演時間となり、参加者たちが三味線や太鼓、歌にあわせて、しなやかに踊って横越小唄を披露。集まった多くの見物客から声援や拍手が送られました。参加者から「緊張したけど楽しかった。たくさんの人たちの前で踊れて気持ちよかった」と感想が聞かれました。